

第15回“美しき桜心の物語”の語り会を開催しました



青梅市吉川英治記念館にて

2024年3月24日（日）、願いごとを携えて巡る「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所」のメイン事業である第15回“美しき桜心の物語”の語り会が、昨年に引き続き青梅市吉川英治記念館（東京都青梅市柚木町）の主屋にて開催されました。これは、名作・名文の全文を暗誦する語り部・かたりすとの平野啓子さん（元NHKキャスター、大阪芸術大学教授）が、毎年春、美しい多摩川フォーラムの副会長として、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所」のいずれかの札所またはその周辺で、「桜と人との不思議な縁（えにし）」の語りをお届けするもので、今年も青梅市および青梅市教育委員会の後援のもと開催されました。

3月4日（月）から電話で受付を開始したところ、主に「広報おうめ」をご覧になった青梅市民の方から沢山のお申し込みをいただき、翌日の午前中には定員に達するほど、今回も人気の高いイベントとなりました。

イベント当日はすっきりしない曇り空で肌寒い日でしたが、受付開始の午後1時半になると、青梅市内や八王子市在住の方が続々と訪れ、会場に用意した椅子席23席はあっという間に埋まりました。



青梅市吉川英治記念館の外観。
あいにくの曇り空で、肌寒い一日でした。



会場の主屋は明治初期に建てられ、
国の登録有形文化財。



午後1時半より受付開始。
親子で参加の方もいらっしゃいました。



平野さんの登場を今か今かと待つ参加者。

午後2時。当フォーラム地域経済活性化部会澤田副部長による開会挨拶の後、いよいよ「語り」が厳かに始まりました。

艶やかな桜色の着物に身を包んだ平野啓子さんが、「チリーン、チリーン・・・」という鈴の音に導かれるように会場の袖から登場し、舞台上に登場しました。参加された皆さんは、平野さんの艶めいた美しい声に誘われ、瀬戸内寂聴作「しだれ桜」の「語り」の世界に引き込まれていきました。そして、平野さんの抑揚ある「語り」や雅びな仕草、凝った照明や音響、珠玉の言葉でたたみかけられる桜の描写に魅了され、客席はうっとりとして聴き入っていました。



澤田地域経済活性化副部長より
開会の挨拶がありました。



いよいよ「語り」が始まりました。



瀬戸内寂聴作「しだれ桜」を、約40分にわたって全文暗誦で披露。抑揚のある美しい声、場面ごとに切り替わる照明や効果音など、会場は平野さんの「語り」の世界にぐんぐんと引き込まれていきました。



「しだれ桜」上演後、YouTube動画の紹介や、吉川英治の代表作である「宮本武蔵」から多摩地域になじみのある土地名が出てくる「下り女郎衆」の一部を朗読で披露しました。その後も防災の話や、9月に開催予定の「多摩の物語」の語り会の話など、バラエティーに富んだ楽しいトークに、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれました。



「語り」の後のトークではYouTube動画の紹介や、吉川英治の代表作「宮本武蔵」から「下り女郎衆」の一部が朗読で披露されました。

「語り会」終了後、参加された方から、「とても素敵な語りだった。」「美しい声に引き込まれた。」「春に先駆け、心が膨らむような語りだった。」「桜に対する見方が変わった。」「次回も楽しみにしている。」などと、絶賛する声が多数寄せられました。

当フォーラムでは、今後も、多摩川流域に点在する桜の名所を八十八ヵ所選定した「多摩川夢の桜街道」のPRに努め、「願いごとを携えて巡る桜の楽しみ方」を皆さんに広めてまいります。

来年の春も、「多摩川夢の桜街道」の桜の語り会をお楽しみに！

